百田（ももた）　裕子（ひろこ）

職名・職位　学科長・教授

担当科目　生活技術、子ども・高齢者と食育
フードスペシャリスト論

学　　位　1999 年 3 月　博士(学術)
（共立女子大学）

研究分野　生活科学

研究キーワード　衣生活、食生活、住生活、家政教育、生活科学一般

研究業績

著書	1989年 5月	『話題源英語』(分担執筆、東京法令出版)
	2004年 3月	『福祉のための家政学』(共著、建帛社)
	2005年 1月	『人間工学の百科事典』(分担執筆、丸善)
	2005年 4月	『介護福祉士のための家政学実習』(共著、建帛社)
	2010年 4月	『生活支援のための家政学』(共著、建帛社)
	2017年 4月	『新版福祉のための家政学−自立した生活者を目指して』(共著、建帛社)
	2023年 3月	『改訂 生活支援のための調理実習』(編・共著、建帛社) (他 共著・分担執筆7件)
論文等	2003年 1月	「本学介護福祉専攻学生の被服管理に関する履修前の実態と履修後の効果」(共著、宇都宮短期大学人間福祉学科研究紀要 第1号)
	2005年 3月	「生活の自立支援ができる介護福祉士養成のための家政系科目の授業内容に関する研究」(共著、2003・2004年度科研費研究成果報告書)
	2008年 9月	「生活援助と家政学−2009年度からの新カリキュラムにおける家政学の位置づけ−」(共著、2008年日本介護福祉学会助成研究報告書)
	2009年10月	「生活支援と家政学−新カリキュラムにおける家政学教育の課題」(共著、介護福祉学 第16巻第2号)
	2020年 3月	「栃木県上都賀地域における湛水栽培を取り入れた里芋の栄養成分の特徴と調理法に関する研究」(共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第18号)
	2023年 3月	「淡水養殖魚の消費拡大に向けた料理法の提案ーにじます」(共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第21号) (他 34報)

社会的活動

2012年 4月	うつのみや次世代産業イノベーション推進会議委員 (2019年3月まで)
2015年10月	宇都宮市主催子育て支援員専門研修講師 「乳児食の食事と栄養」
2016年 8月	栃木県教育委員会とちぎ子ども未来創造大学講座講師「ごっくん飲み込めない(えんげ障がい)の方の食べものを作ろう」
2017年 9月	栃木県食生活改善推進協議会「第13回子どもの料理コンテスト」審査員(年1回2019年8月まで)
2017年10月	宇都宮短期大学地域福祉開発センター主催公開講座講師 「高齢者の低栄養を防ごう〜低栄養を防ぐ調理実習」
2018年 8月	栃木県教育委員会とちぎ子どもの未来創造大学公開講座講師「敬老の日のお菓子を作ろう」
2021年 3月	栃木県農政部ユニークセリングポイント活用プロジェクトチーム検討会検討委員(2024年3月まで)

略歴

1975年 3月	共立女子大学家政学部卒業
1993年 3月	共立女子大学大学院家政学研究科修士課程修了
1999年 3月	共立女子大学大学院家政学研究科人間生活学専攻博士後期課程修了
1975年 4月	共立女子大学家政学部教育助手(1993年3月まで)
1993年 4月	共立女子大学家政学部非常勤講師(2011年3月まで)
2001年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科専任教員(2019年3月まで)
2011年 4月	順天堂大学保健看護学部非常勤講師(2017年3月まで)
2011年 4月	東洋大学ライフデザイン学部非常勤講師(2017年3月まで)
2011年 4月	文京学院大学人間学部非常勤講師(2018年3月まで)
2019年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科学科長 教授(現在に至る)
2019年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科兼担教授(現在に至る)

所属学会　日本家政学会、日本繊維製品消費科学学会、日本人間工学会、日本介護福祉学会

学生・社会へのメッセージ　家庭生活(被服・食・住・家庭経営等)の充実は健康と英気を養い、豊かな福祉社会を作る基本と思っています。環境問題が課題となっている現代社会において、地球と共に生きる人間としてどうすべきかを常に考えながら生活を楽しみ、それを踏まえて心温かな対人サービスができる学生の育成をめざしています。

まつだ　　ち づ
松田　千鶴

職名・職位　教授

担当科目　給食管理Ⅰ・Ⅱ、給食管理実習Ⅰ
給食管理実習Ⅱ（校外実習）
ライフステージ栄養学実習
食物栄養特別演習

学　　位　2016年3月　修士(保健学)
（女子栄養大学）

研究分野　スポーツ科学、体育、健康科学

研究キーワード　幼児期の体型、咀嚼・嚥下、糖尿病療養指導（CDE-J)、行動栄養学

研究業績

著書

2007年 1月	『緩和医療学　管理栄養士の立場から　緩和医療におけるコミュニケーション』(共著　先端医学社)

論文等

2016年 2月	「幼児期の食習慣等の実態並びに体型への関連ついての研究－出生体重と体型との関連を中心に－」(共著、女子栄養大学大学院栄養学研究科・保健学科紀要 第47号)
2017年 3月	「幼児期における食習慣咀嚼・体型に関する研究～出生体重別身長・体重の推移との関連を中心に～」(共著、文星芸術大学・宇都宮文星短期大学紀要 第28号)
2022年 3月	「高齢者糖尿病患者への継続栄養指導実施による食事療法の有効性について」(単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・第20号)

社会的活動

2015年 4月	女子栄養大学香友会栃木支部 支部長（2017年3月まで）
2017年 6月	大原耳鼻咽喉科、眼科クリニックにて糖尿病外来栄養指導（2018年5月まで）
2020年 4月	日本栄養士会栃木県栄養士会宇都宮支部 支部長（現在に至る）
2020年 4月	宇都宮市看護協会主催「まちの保健室」栄養相談（現在に至る）
2020年 4月	宇都宮市食品安全懇話会推進委員(現在に至る)
2020年 4月	いちご一会とちぎ国体宇都宮実行委員並びに宿泊衛生専門委員（2023年3月まで）
2020年 4月	宇都宮市保健衛生審議会委員（2022年3月まで）
2020年 4月	栃木県栄養士会栄養改善学会運営委員（現在に至る）
2023年 6月	令和5年度学校給食の衛生管理等に関する指導者派遣事業指導者
2024年 4月	日本栄養士会研究教育職域管理栄養士栄養士関東ブロック理事(現在に至る)

略歴

2016年 3月	女子栄養大学大学院栄養学研究科保健学専攻修士課程修了
1973年 4月	大田原赤十字病院栄養課(現那須赤十字病院)（2015年3月まで）
2015年 4月	宇都宮文星短期大学地域総合学科フードフィールド栄養士ユニット准教授(2018年3月まで)
2018年 4月	晃陽看護栄養専門学校管理栄養士学科 準備室教授(2019年3月まで)
2019年 4月	晃陽看護栄養専門学校管理栄養士学科 学科長(2021年3月まで)
2020年 6月	菅間付属診療所非常勤管理栄養士（現在に至る）
2020年 9月	宇都宮短期大学食物栄養学科非常勤講師(2021年3月まで)
2021年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科教授（現在に至る）

所属学会　日本糖尿病学会、日本病態栄養学会、日本静脈栄養学会、日本健康教育学会、日本健康学会
日本給食経営管理学会、日本咀嚼学会

学生・社会へのメッセージ　「食は命なり」尊敬する恩師の言葉です。食は人が生きていくうえでいかなる時も切り離せない重要な事です。その食について、正確な深い知識や技術を獲得していただき、食のもたらす豊かな人間性も育てていきたいと考えています。これまでの医療現場で培ってきた学びや経験したこと、また、他施設の教育において経験したことなども礎にして、意義あるそして楽しい学生生活が過ごせるようにサポートしたいと思います。

くぼた　ひろみ

久保田　浩美

職名・職位　教授

担当科目　食品衛生学、公衆衛生学、
食品衛生学実験、食品の安全、
食物栄養学演習、栄養士実力養成演習

学　　位　2009年11月 博士（農学）
（筑波大学）

研究分野　農芸化学、社会医学・看護学

研究キーワード　食品衛生、微生物制御、微生物利用、衛生学、公衆衛生学

研究業績

著書

2016年11月　『有害微生物の制御と管理』(分担執筆　テクノシステム)
2017年11月　『バイオフィルム制御に向けた構造と形成過程－特徴・問題点・事例・有効利用から読み解くアプローチー』(分担執筆　シーエムシー出版)
2023年 6月　『バイオフィルム革新的制御技術』(分担執筆　エヌ・ティー・エス)
（他　著書分担執筆　5件、一般雑誌記事執筆　1件）

論文等

2012年 5月　“*Moraxella* species are primarily responsible for generating malodor in laundry” (責任著者 Applied and Environmental Microbiology Vol.78,No.9)
2013年 3月　“Stress tolerance of *Methylobacterium* biofilms in bathrooms”(責任著者、Microbes and Environments Vol.28,No.1)
2015年 3月　「(特集総説)実環境におけるバイオフィルムの構造解明と制御」(共著、環境バイオテクノロジー学会誌 14巻 2号)
2016年 1月　“Pentanol and benzyl alcohol attack bacterial surface structures differently”(責任著者、Applied and Environmental Microbiology Vol.82,No.1)
2016年 7月　“Complete genome sequence of *Moraxella osloensis* strain KMC41, a producer of 4-methyl-3-hexenoic acid, a major malodor compound in laundry”(共著、Genome Announcements Vol.4,No.4)
2016年 9月　“Effects of disinfectants against norovirus virus-like particles predict norovirus inactivation”(共同責任著者、Microbiology and Immunology Vol.60,No.9)
2018年 1月　「環境衛生学領域におけるバイオフィルム」(単著、 臨床と微生物 45巻 1号)
2020年 4月　「微生物制御に関わる製品の開発につながるベーシックサイエンス」(単著、極限環境生物学会誌 Vol.18)
2021年 8月　「日用品・食品の開発につながる微生物制御の基礎研究」(単著、化学と生物 第59巻第8号)
2022年 5月　「バイオフィルム視点からの食品危害菌の制御」(単著、食品と開発 Vol.27,No.5)
2023年 3月　「家庭系食品ロスの実態」(単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第21号)
2023年 9月　「食品の安全とバイオフィルム」(単著、アグリバイオ Vol.7,No.10)
（他　論文等 19報、特許 60件）

社会的活動

2014年 4月　日本バイオフィルム学会　理事（2020年5月まで）
2020年 3月　日本農芸化学会　女性企業研究者賞受賞
2021年 6月　日本防菌防黴学会　企画委員（現在に至る）
2023年 6月　令和5年度学校給食の衛生管理等に関する指導者派遣事業指導者
（他　招待講演等　15件、研究発表（2014年以降）53件）

略歴

1984年 3月　筑波大学第2学群農林学類生物応用化学専攻卒業
1986年 3月　筑波大学大学院博士課程農学研究科 修士取得後退学
2009年11月　筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科(後期課程)修了
1986年 4月　花王株式会社　生物科学研究所　研究員
2002年 3月　花王株式会社　安全性評価研究センター 研究員
2005年10月　花王株式会社　安全性評価研究センター 主任研究員
2009年 1月　花王株式会社　安全性評価研究所 上席主任研究員
2014年 1月　花王株式会社　安全性科学研究所 主席研究員
2017年10月　花王株式会社　スキンケア研究所 主席研究員　(2020年5月まで)
2021年 4月　宇都宮短期大学　食物栄養学科　教授（現在に至る）

所属学会　International Association for Food Protection、日本農芸化学会、日本公衆衛生学会、日本細菌学会、日本生物工学会、日本バイオフィルム学会、日本食品衛生学、日本環境感染学会

学生・社会へのメッセージ　食の安全を確保するための「食品衛生」、社会全体として健康の維持・増進や疾病予防を図る「公衆衛生」について、“理解は興味から”、“学びは楽しく”をモットーに実践で役立つ授業を目指します。また、“出会い”と“コミュニケーション”を大切に活動したいと思っています。

ふかわ　　かおる
布川　かおる

職名・職位　准教授

担当科目　臨床栄養学、臨床栄養学実習、
栄養指導論Ⅰ、栄養指導実習Ⅰ
食物栄養学演習、栄養士実力養成演習
等

学　　位　2018年3月　修士（家政学）
（東京家政大学）

研究分野　スポーツ科学、体育、健康科学

研究キーワード　臨床栄養、生活習慣病、栄養教育、ヘルスプロモーション、老化

研究業績

著書

2011年12月	『臨床栄養別冊　栄養ケアマネジメントファーストトレーニング　代謝・内分泌疾患』（共著、医歯薬出版株式会社）
2014年11月	『２型糖尿病のためのカーボカウント実践ガイド』　（共著、医薬ジャーナル社）
2015年 3月	『糖尿病作って食べて学べるレシピ』（共著、医学書院）
2019年 9月	プラクティス9月号『CGMでこう変わる～糖尿病治療の新時代の幕開け　リブレを用いた栄養指導の実際』（共著、医歯薬出版）　他2件
2021年 9月	『臨床栄養教育トレーニングテキスト　症例から学ぶ栄養ケア』（共著、医歯薬出版）

論文等

2018年 3月	「性周期と胃排出速度、とくに液体飲料と固形食の比較」（単著、東京家政大学大学院修士論文）
2020年 3月	「栃木県上都賀地域における湛水栽培を取り入れた里芋の栄養成分の特徴と調理法に関する研究」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科紀要 第18号）
2024年 3月	「精進料理の栄養学的検討」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科紀要 第21号）

社会的活動

1995年 4月	世田谷区在宅栄養士会活動(2003年まで)
2010年 2月	臨床糖尿病支援ネットワーク「糖尿病作って食べて学ぶ会」のワーキンググループ企画、講師、「介護福祉関連スタッフを対象とした糖尿病セミナー」ワーキンググループ講師　他14件(現在に至る)
2010年11月	西東京糖尿病療養担当者のためのセミナー企画、講師(現在に至る)
2012年12月	公益財団法人三越厚生事業団健康セミナー・健康実践教室等　他7件(2021年まで)
2015年 7月	第 12 回病態栄養研修会「糖尿病の最適脂質量をどう考えるか」ディベーター
2015年10月	中央区保健所中央区集団給食研究会・栄養士会主催中央区集団給食研究会「社員食堂で減塩推進するためには」献立試食提供と講師
2019年 1月	富士通FIP健康推進センター「FZAPダイエットプロジェクト」食事介入アドバイス(2019年8月まで)
2020年11月	糖尿病患者さん向けの料理動画の作成・配信　高村クリニックHp(現在に至る) その他14件

略歴

1983年 3月	共立女子大学家政学部食物科管理栄養士専攻　卒業
2018年 3月	東京家政大学大学院健康栄養学専攻　修士課程修了
1983年 4月	国家公務員共済組合連合会虎の門病院管理栄養士として勤務（1993年3月まで）
2001年 4月	東京都立広尾病院栄養科特別非常勤管理栄養士として勤務（現在に至る）
2005年 4月	東京栄養食糧専門学校非常勤講師（2009年3月まで）
2009年 4月	東京家政大学栄養士科非常勤講師（現在に至る）
2011年 2月	三越診療所非常勤管理栄養士として勤務（2019年3月まで）
2011年10月	高村内科クリニック糖尿病療養指導士として非常勤勤務（現在に至る）
2019年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科准教授（現在に至る）
2020年 4月	宇都宮共和大学子ども生活学部兼任講師（現在に至る）

所属学会　病態栄養学会、日本消化吸収学会、糖尿病学会

学生・社会へのメッセージ　健康や栄養の情報はあふれていますが、食の専門家として根拠のある情報入手の仕方や正しい情報をもとに健康増進を実践できる力をつけることを目標としています。医療現場で経験したこと、感じたこと活かして、相手の立場に立った学生を育てたいと思います。

きくち　あきひろ
菊地　晶裕

職名・職位　准教授

担当科目　化学、生化学、栄養化学、食品学Ⅰ、生化学実験、栄養化学実験、食品学実験Ⅰ

学　　位　1999年3月　博士（理学）（北海道大学）

研究分野　生体情報内科学

研究キーワード　代謝学、内分泌学、生理学、医化学

研究業績

著書

2016年 1月	『「解明」から「制御」へ　肥満症のメディカルサイエンス』(共著、羊土社)

論文

2001年 3月	“Crystal Structure of Rat Biliverdin Reductase”（共著、*Nature Struct. Biol.* 8, 221-25)
2017年 3月	“Where does liver fat go? A possible molecular link between fatty liver and diabetes”（共著、*J. Diabetes Invest.*, 8, 152-154)
2018年 3月	“Inhibin βE (INHBE) is a possible insulin resistance-associated hepatokine identified by comprehensive gene expression analysis in human liver biopsy samples”（共著、*PLoS One*, 13, e0194798.)
2019年 1月	“p62-mediated autophagy affects nutrition-dependent insulin receptor substrate-1 dynamics in 3T3-L1 preadipocytes”（共著、*J. Diabetes Invest.*, 10, 32-42)
2020年 8月	“Plasma half-life and tissue distribution of leukocyte cell-derived chemotaxin 2 (LECT2) in mice”（共著、*Sci. Rep.*, 10, 13260)

社会的活動

2014年 4月	「糖尿病病態形成ヘパトカイン・セレノプロテインPおよびその受容体の結晶構造解析」、科学研究費　基盤研究（C）　課題番号26461328、研究代表者（2017年3月まで)
2017年 4月	「セレノプロテインPを標的とした新規糖尿病治療薬の結晶構造解析に基づく開発」、科学研究費　基盤研究（C）　課題番号17K09822、研究代表者（2020年3月まで)
2021年 4月	「１型糖尿病におけるマイオカインを介した臓器間ネットワークの解明」、科学研究費　基盤研究（C）　課題番号21K08590、研究代表者（2024年3月まで)

略歴

1994年 3月	北海道大学理学部化学第二学科卒業
1996年 3月	北海道大学大学院理学研究科化学第二専攻修士課程修了
1996年 7月	マックスプランク放射化学研究所（ドイツ）に留学（1997年8月)
1999年 3月	北海道大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了
1999年 4月	理化学研究所　基礎科学特別研究員、研究員、専任研究員（2017年3月まで)
2011年 8月	金沢大学大学院医学系研究科　博士研究員（2018年4月まで)
2018年 5月	自然科学研究機構生理学研究所　特任助教（2024年3月まで)
2018年 5月	総合研究大学院大学生命科学研究科　助教（2024年3月まで)
2024年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科　准教授(現在に至る)

所属学会　日本化学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本肥満学会、日本生理学会、日本神経内分泌学会

学生・社会へのメッセージ

「医食同源」と言う言葉がありますが、「なにを、いつ、どれだけ、どのように」食べると健康が維持できるのか？、という問いに対する解は必ずしも明らかになっていません。現在、この解と関連する様々な研究が行われていますが、これからの栄養士にはそれらの研究成果を活用することも重要だと考えています。そこで、基礎的な知識を身につけるだけではなく、最新の研究結果の解釈、また、それらの研究成果を実生活で活用する方法についても議論ができる栄養士の育成をめざします。

土橋（どばし）　典子（のりこ）

職名・職位　専任講師

担当科目　基礎栄養学、栄養指導論Ⅱ、
栄養指導実習Ⅱ、食物栄養学演習、
食品の官能評価・鑑別論、
栄養士実力養成演習、
子ども･高齢者と食育 等

学　　位　2008 年 3 月　修士（教育学）
（宇都宮大学）

研究分野　スポーツ科学、健康科学

研究キーワード　栄養学、食教育、スポーツと栄養、高齢者と低栄養予防、生活習慣病予防

研究業績

著書	2023年 3月	『改訂　生活支援のための調理実習』（共著、建帛社）
論文等	2020年 3月	「栃木県上都賀地区における湛水栽培を取り入れた里芋の栄養成分の特徴と調理法に関する研究」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第18号）
	2020年 3月	「食塩摂取量に影響を及ぼす食品の検討」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第18号）
	2022年 3月	「子ども食堂における食育の取り組み-実践報告」（単著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第19号・第20号）
	2024年 3月	「高校女子サッカー部への栄養指導の取り組み」（共著、宇都宮大学紀要 第14号）

社会的活動

2022年 8月	足利市地域包括支援センター主催講演会講師「低栄養について」
2023年 1月	宇都宮市立中央図書館主催講演会講師「シニア世代応援講座-低栄養を防ぐには」
2023年11月	公益財団法人介護労働安定センター栃木支部　介護労働講習　実践講習講師
2024年11月	公益財団法人介護労働安定センター栃木支部　介護労働講習　実践講習講師

略歴

2004年 9月	放送大学教養学部生活と福祉専攻卒業
2008年 3月	宇都宮大学大学院教育学研究科教科教育専攻家政教育専修修士課程修了
1984年 4月	北海道上湧別町立特別養護老人ホーム湧愛園栄養士(1989年3月まで)
1989年 4月	医療法人社団延山会北成病院栄養士（1991年3月まで）
2002年 8月	足利市社会福祉協議会非常勤講師（現在に至る）
2002年10月	足利市健康増進課登録栄養士（現在に至る）
2010年 9月	宇都宮短期大学人間福祉学科非常勤講師(2011年3月まで)
2010年 9月	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部歯科衛生学科非常勤講師（現在に至る）
2012年 4月	特定非営利活動法人蔵の街たんぽぽ福寿園デイサービス管理栄養士（2014年3月まで）
2017年10月	宇都宮短期大学人間福祉学科非常勤講師　（2019年3月まで）
2019年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科専任講師（現在に至る）
2019年 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科兼担講師(現在に至る)
2020年 4月	宇都宮短期大学音楽科兼担講師(現在に至る)
2021年 4月	宇都宮共和大学子ども生活学部兼任講師(現在に至る)
2024年 4月	放送大学栃木学習センター非常勤講師 専門科目「生活と福祉」（現在に至る）

所属学会　日本栄養・食糧学会、日本スポーツ栄養学会、栃木県栄養改善学会

学生・社会へのメッセージ　知識だけではなく、実践をとおして他者の健康に貢献できる栄養士になっていただきたいと思っています。それには、先ずは自己の食生活から見直し、次に家族、そして地域の食生活を通して課題をみつけ、積極的に改善に向けて取り組める人になってください。

すずもり　ようこ
鈴森　瑶子

職名・職位　専任講師

担当科目　調理学実習Ⅰ・Ⅱ、製菓実習、
フードコーディネート論、
食物栄養学演習、
栄養士実力養成演習

学　　位　2024年3月 修士（生活科学）
（大妻女子大学）

研究分野　社会学、農芸化学、スポーツ科学、体育、健康科学

研究キーワード　生活科学、調理科学、栄養教育

研究業績

論文等

2020年 3月	「栃木県上都賀地域における湛水栽培を取り入れた里芋の栄養成分の特徴と調理法に関する研究」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要第18号）
2023年 3月	「淡水養殖魚の消費拡大に向けた料理法の提案－にじます」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要　第21号）
2023年 3月	「学校給食における地場産物活用と食嗜好との関連」（単著、大妻女子大学大学院修士論文）
2024年 3月	「給食管理の実践に向けた菓子製造販売の教育効果に関する一考察」（共著、宇都宮短期大学人間福祉学科・食物栄養学科研究紀要 第22号）

社会的活動

2022年 4月	栃木県栄養士会　健康管理教育協議会役員（情報書記）（2024年3月まで）
2022年11月	栃木県栄養士会・宇都宮市環境学習センター共催「親子で挑戦！エコクッキング体験」講師
2023年11月	栃木県栄養士会・宇都宮市環境学習センター共催「災害時にも役立つ！パッククッキング講座」講師
2024年 4月	栃木県栄養士会　健康管理教育協議会役員（会長補佐・会計）（現在に至る）

略歴

2015年 3月	大妻女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻卒業
2023年 3月	大妻女子大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻修了
2015年 5月	宇都宮文星短期大学教務課栄養士養成課程助手（2019年3月まで）
2019年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科助手（2024年3月まで）
2024年 4月	宇都宮短期大学食物栄養学科専任講師（現在に至る）
2024年 4月	宇都宮共和大学子ども生活学部兼任講師（現在に至る）

所属学会　日本調理科学会、日本食生活学会、日本給食経営管理学会、日本健康教育学会

学生・社会へのメッセージ　調理は、食品を“美味しく食べられる料理”へと変化させることです。しかし、料理のおいしさは味や食感など料理の状態だけで感じるものではなく、いつどのような場面で食べるかによって、さらには人によっても感じ方が異なる不思議さをもっています。様々な要素からなる「おいしさ」を追求し、食べる人に喜ばれる食事作りを学んでいきましょう。